

**【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ**

**生涯、常に確認するお金に関わること**

**発行者：牧野 F P 事務所 合同会社 代表社員 牧野寿和**

**牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>**

**<第 457 号の目次>**

**■ 今週のテーマ**

**生涯、常に確認するお金に関わること**

**■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ**

**■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール**

**■ 編集後記**

それでは、

今週のテーマからはじめます。

\*:\*\*

**■ 今週のテーマ**

**生涯、常に確認するお金に関わること**

\*::~

生涯、お金に関わらないで、  
生活をしていくことは不可能です。

そこで今回は、  
ご自身の家計を運営していく上で、  
いくら老いても、  
常に確認が必要なお金に関わる3点を、  
お話していきます。

---

### (1) 老後の生活資金

---

最初は、生活資金に関わることです。

年金が、主な家計の収入として生活をするとき、  
これまでの現役時代と同じような支出額を、  
年金収入だけで維持すること、  
通常は困難なことです。

そこで、支出を減少させる手立てを講じます。

その方法として、基本的には、  
・収入が減った分、これまでの支出額を減らす  
・貯蓄から、支出の不足分を補う  
といったことを考えます。

では、具体的にはどのようにしたら良いのか？

通常は、これまでよりは、家計の支出を減らして  
貯蓄からも不足分を取り崩すといった、  
上述の2つの方法を折衷して行っていきます。

年金収入は、年によって多少上下しても、  
なくなることはないでしょう。  
一方、支出の方もなくなることはありません。  
しかし、  
貯蓄の残高は底をつくことはあります。

また、歳を取ってから、  
まとまった額の収入は期待できません。

収益が見込める金融商品に、  
投資をしようと考えているなら、  
収益が見込めるということは、  
収益額分の損失もあり得るということです。  
従って、年老いてからは、  
できないと思っていた方が良いでしょう。

となると、老後の生活は、

- ・年金収入だけで生活をする
- ・年金収入で足りない分は貯蓄を取り崩す
- ・貯蓄が底をつかないように補充する

また、このような生活をするために、

- ・現在の毎月の家計支出額を知る
  - ・年金収入だけで生活できる毎月の支出額を計算する
  - ・上記ふたつの金額の差を知る
  - ・その差額分を、今から支出を減らす
- といった対策が必要でしょう。

---

## (2) 万が一の現金の準備

---

次に、現金を準備しておくことを考えます。  
老後の生活に限らず、  
急に現金が必要になることがあります。

例えば、持ち家に住んでいれば、  
家の修繕費です。  
急に病気になって病院に行ったときの医療費です。  
また親戚や知人の冠婚葬祭費用です。

多くの場合はクレジットカードで、  
支払うことができる場合も多いでしょう。

しかし、  
冠婚葬祭などでは現金が必要になるでしょう。

そこで、毎月の支出には使わない緊急用として  
毎月の家計支出の3カ月から半年分、  
家計に応じた必要な金額を、  
万が一の現金の準備として、  
普通預金口座に預金して確保しておくべきです。

なお、  
普通預金口座に入れておいては、  
使ってしまうことが心配な方は、  
定期預金口座に入れておいてもよいでしょう。

現在は、銀行によってはネットバンキングで、

容易に定期預金の解約ができます。

万が一の現金が必要になったときは、定期預金口座からネットで解約しておいて、最寄りの ATM で、現金を引き出しても良いでしょう。

念のために、定期預金口座は、あくまで、貯蓄をしていくために使う口座です。

---

### (3) これから必ずいるお金の確保

---

年金生活に入ってから、これから必ずいるお金は限られてくるでしょう。

上記 (2) でふれました、冠婚葬祭の費用のうち孫の入学祝などは、すでにお祝いする年と支出が決まっていれば、その時までにお金を準備すればよいのです。

他にも、自家用車に乗っている方は、何歳まで運転するのか、また自家用車を所有するのか決めておけば、その間のガソリン代や車検費用など車の維持費を算出しておくことが可能です。

このように、何年先にその年だけに必要な費用を、確認しておいて、その年に間に合うように、準備していけばよいのです。

ただし、ここでもそのお金を捻出するために、日頃の家計の支出額をさらに減少していくことが、必要になるかもしれません。

---

### (番外) お金を借りるときの注意

---

急にお金が必要になっても

(2) 万が一の現金の準備のように、その分のお金を準備できないときは、どこかでお金を借りることになります。

ここで注意していただきたいことは、  
現在、たとえば銀行のカードローンなどで  
借りるための条件を満たせば、  
借りられる場合があります。

ただし、  
借りたお金を、利息を含めて完済できるかは、  
借りた方の懐具合です。  
銀行は、  
そこまで見て貸してくれるものではありません。

従って、年取ってから、  
どうしてもお金を借りなくてはならない場合は、  
ご自身だけで決めるのではなく、  
身近な信頼できる人に相談することも大事です。

\*\*\*\*\*:  
■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ  
\*\*\*\*\*:

お金との付き合いは、  
  
生涯、絶えず注視していくことが必要です  
  
それが難しくなったときは、  
  
ひとりで決めることは止めましょう！

\*\*\*\*\*:  
■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール  
\*\*\*\*\*:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる  
  
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー  
  
創業 18 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。  
  
1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、  
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。  
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、

日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003年 牧野FP事務所を創業。  
2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ900件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！  
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより  
愛知、岐阜、三重県、  
首都圏や関西にも  
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、  
相談者ご自身にとって  
有益な提案を心がけています。

\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*

## ■編集後記

\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*

お金のことを考えない人生は、  
気楽で良いかもしれません！？

お金のことを常に考える人生は、  
息が詰まりますか？

歳を取れば、

今までの生活で培った、

生活の知恵が身についています。

老後の生活でも、

自立した生活ができる間は、

悠々自適の生活を楽しみましょう！

### 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、  
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

---

### ■【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和  
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。  
こちらから出来ます。  
<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで  
お願いいたします  
E-MAIL : [makino.fp@beach.ocn.ne.jp](mailto:makino.fp@beach.ocn.ne.jp)

---

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

---

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。  
ご自身の責任でご判断下さい。

---